

教科	技術・家庭科(技術分野)	学年	第 2 学年	担当者	品田 直毅
----	--------------	----	--------	-----	-------

生活に必要な基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。

【教科目標】

【使用教科書・教材等】

教科書 「新しい技術・家庭（技術分野）東京書籍」

学期	単元名	学習のねらい（身につけたい力）	準備物
1 学期	情報とわたしたちの生活 コンピュータのしくみ ・ハードウェアとソフトウェア ・コンピュータの構成と機能 ・コンピュータの基本操作	<ul style="list-style-type: none"> 生活の中での情報の役割がわかる。 ハードウェアとソフトウェアの役割がわかる。 コンピュータを構成する装置のしくみや働きがわかる。 コンピュータの基本的な操作ができる。 ワープロソフトの基本操作、入力ができ、簡単な文章入力ができる。 「名刺」の制作 	教科書 ファイル
2 学期	コンピュータの利用 ・文書処理ソフトウェア ・情報モラルについて 生物育成に関する技術	<ul style="list-style-type: none"> 文書処理ソフトを使い、適切に文書を作成できる 著作権やインターネット活用する上での注意など、情報モラルについて知り考えることができる。 作業の見通しをもって、意欲的に作品を作ることができる。 生物育成に関する技術を利用した栽培ができる。 成長の変化をとらえ、育成する生物に応じて適切な対応を工夫することができる。 	教科書 ファイル
3 学期	(技術分野) ・表計算ソフトウェア ・制御	<ul style="list-style-type: none"> 表計算処理ソフトを使い、データ処理ができる。 ライントレースカーの制御を通して、制御を行う技術について知り、その技術と私たちの生活や社会との関わりを考える。 	教科書 ファイル 制御プログラム

【学習計画】

【評価の観点と評価の方法】（通知表のつけ方）

評価の観点	生活や技術への関心・意欲・態度	生活を工夫し創造する能力	生活の技能	生活や技術についての知識・理解
	25%	25%	25%	25%
評価の観点の趣旨	授業参加や提出物の内容等、より高い目標を設定して努力しているかどうかをみる。	生活を振り返りながら課題を発見し、その課題を解決しようと積極的に授業に取り組もうとしているかをみる。	学習したことに基づき、適切に判断し実践できるかどうかをみる。	学習の内容を整理し、定着しているかどうかをみる。
評価の方法	授業の準備 授業態度 提出物（ノート・プリント・作品）	発表等の授業態度 提出物（作品・プリント）	提出物（プリント・作品） 実習態度	定期考査 提出物

【授業の受け方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- 教科書・ファイル・準備物を忘れず、授業に集中できる態勢を自分で作りましょう。
- プリントやファイル、作品の提出期限を守りましょう。
- 課題をしっかり理解して集中して実習に取り組みましょう。
- ノートをしっかり取り、プリントなどの課題にもまじめに取り組みましょう。

【家庭学習の進め方・学習のポイント】（担当の先生からのアドバイス）

- ・実際に授業で学んだことを生かして、普段から家庭生活の中で手伝い等をしながら体験的に理解を深めていきましょう。
- ・社会で起こる家庭や家族にかかわる出来事について関心を持ち、それらについて自分の考えをまとめ、授業についてより理解を深め、よりよい生活ができる知識を身につけましょう。